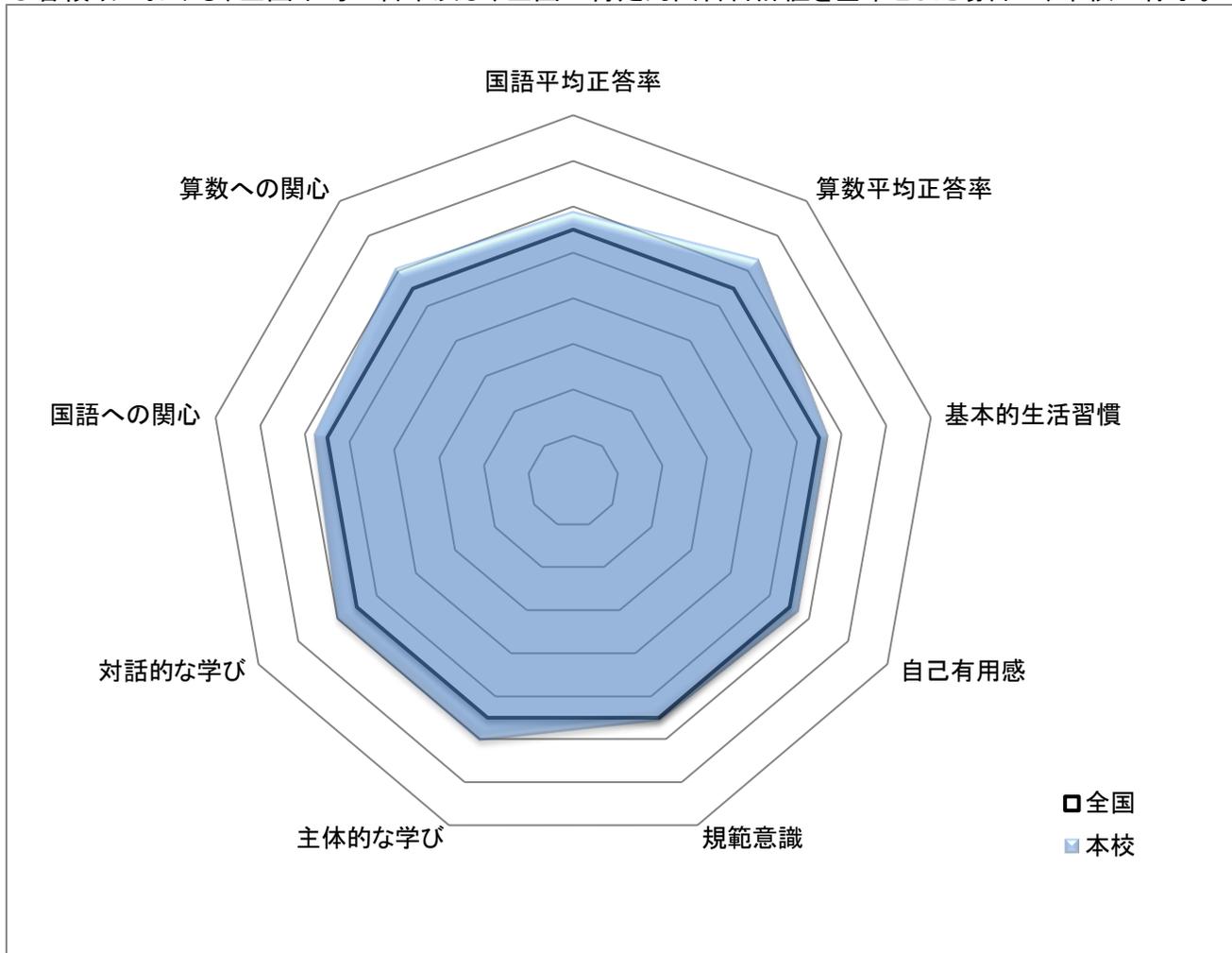


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語、算数ともに、全国平均正答率を上回っており、基本的な学力の定着が見られる。
- ・「算数への関心」が特に高く、正答率にもつながっている。
- ・「主体的な学び」「対話的な学び」の項目が大きく上回っており、自ら学ぶだけでなく、学級の中で話し合っって考えを深めている日常の様子が反映されている。

《授業改善のポイント》

どの項目でも全国平均を上回っているため、更に授業改善を行い、学力向上を目指していく。

【国語】
 ・領域別の結果より、「話すこと聞くこと」の数値が他領域に比べて低い。本校の研究主題にも絡め、対話的な学習を教科横断的に行い、国語「話すこと聞くこと」の学習でそれらをまとめたり、補完したりする。

【算数】
 ・領域別の結果より「図形」の数値が他領域と比べて東京都平均との差が小さい。授業の中で、三角形や四角形などの簡単な性質を理解させ、様々な図形の内容を論理的に考えさせる学習過程にしていく。また、朝学習の時間を活用し、ミライシードのドリルパークなどで、個人それぞれの課題に取り組めるようにする。

《チャートの特徴》

- ・全体的にきれいな九角形になっており、バランスのよい学習規律が身に付いている。
- ・どの項目においても、全国平均を上回っている。
- ・「主体的な学び」「対話的な学び」の項目が大きく全国平均を上回っている。
- ・「規範意識」は全国平均とあまり変わらないように見えるが、全国平均自体の値が高いため十分な数値と考えられる。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・「規則正しい生活習慣」「学習習慣」を身に付けられるよう引き続き協力をお願いする。
- ・主体的・対話的に学んでいる普段の様子を家庭にも積極的に発信していき、子どもたちのさらなる自信につなげる。